

資料編

- 1 まちづくり指標実績値算出方法
- 2 SDGsとの関連性
- 3 倉敷市第七次総合計画策定経過
- 4 関係条例等

1 まちづくり指標実績値算出方法

項目	めざすまちの姿	まちづくり指標
1-1	だれもがその人らしさ(個性)を尊重され、幸せに暮らしていくことができている	日々の生活の中で、身の回りの人権が大切にされていると思う人の割合
		「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合
		地域社会の一員として生活できていると感じている外国人の割合
1-2	人の痛みを、子どもたちが実感としてわかっている	小学校での1,000人当たりのいじめの認知件数
		中学校での1,000人当たりのいじめの認知件数
		小学校での不登校児童出現率
		中学校での不登校生徒出現率
1-3	教員の資質が保たれ、教員と子どもが心豊かな人間関係を築き、学校教育が充実している	「子どもの学校での教育がしっかりできている」と感じている人の割合
		困った時、悩みがある時に相談する人がいると答えた子どもの割合
		学校が楽しいと思う子どもの割合
		小中学校のトイレの洋式化率
		学校給食調理場施設のドライ方式の割合
1-4	子どもたちが自然にふれながら、健やかに育っている	自然にふれたり、学んだりする活動に参加している子どもの数
		自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合
1-5	安心できる環境のもとで出産・子育てができている	身近に子育ての相談ができるところがあると思っている人の割合【(1)就学前児童の保護者】
		身近に子育ての相談ができるところがあると思っている人の割合【(2)小学生の保護者】
		子育てを家族で協力して行っている人の割合【(1)就学前児童の保護者】
		子育てを家族で協力して行っている人の割合【(2)小学生の保護者】
		倉敷結婚相談所を通じた結婚成立数
1-6	仕事と家庭の両立ができ、親が子どもとふれあう時間をもつことができている	保育所等の待機児童数
		これまで育児休業を取得したことがある人の割合【(1)就学前児童の父親】
		これまで育児休業を取得したことがある人の割合【(2)就学前児童の母親】
1-7	学校・園、地域、家庭が連携して、子どもたちが困窮することなく、安心して学び、成長できる環境となっている	様々な場面で困った時に相談できる相手がいる保護者の割合【(1)就学前児童の保護者】
		様々な場面で困った時に相談できる相手がいる保護者の割合【(2)小学生の保護者】
		学校・家庭・地域が連携した事業に参加した子どもの数

1 子ども・子育て・教育〈慈〉

算出方法(定義づけ)

市民アンケート調査(まちづくり指標)で「日々の生活の中で、身の回りの人権が大切にされていると思いますか」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思いますか」という設問に対して、『同感しない』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

市内在住の外国人を対象としたアンケート調査で、「地域の行事に参加していますか」という設問に対して、『参加している』『たまに参加している』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

いじめの認知件数/倉敷市の小学校児童数×1,000

いじめの認知件数/倉敷市の中学校生徒数×1,000

注:いじめの重大事態例の多くが「冷やかし」「からかい」等の日常的衝突から発展しており、軽微なものを含めて、「早期発見・早期対応」に努めている。文部科学省では認知件数が多いことは教職員の目が行き届いているあかしと考えている。

不登校による欠席が年間30日以上の子どもの数/倉敷市の小学校児童数×100

不登校による欠席が年間30日以上の子どもの数/倉敷市の中学校生徒数×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)における属性で、小学生・中学生をもつ人で、「子どもの学校での教育がしっかりできていると感じていますか」という設問に対して、『感じている』『どちらかというと感じている』と回答した人の数/アンケート回答者のうち小学生・中学生をもつ人の総数×100

小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「困った時、悩みがある時に相談する人がいますか」という設問に対して、『いる』と回答した小学生・中学生の数/アンケート回答者総数×100

小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「学校は楽しいですか」という設問に対して、『とても楽しい』『まあまあ楽しい』と回答した小学生・中学生の数/アンケート回答者総数×100

市内小中学校のトイレのうち、洋式便器の数/大便器の総数

ドライ方式給食調理場での調理食数/市内学校給食調理場の総調理食数×100

少年自然の家の利用者(乳幼児・小中学生)、自然史博物館主催の自然観察会や講座、冒険遊び場、水辺教室、海辺教室、こどもエコライフチャレンジ、環境学習センター主催の講座への参加児童生徒数

小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「自然の中で遊ぶことを楽しいと思いますか」という設問に対して、『とてもそう思う』『そう思う』と回答した小学生・中学生の数/アンケート回答者総数×100

就学前児童をもつ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート)で、「身近に子育ての相談ができる場所がありますか」という設問に対して『ある』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

小学生をもつ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート)で、「身近に子育ての相談ができる場所がありますか」という設問に対して『ある』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

就学前児童をもつ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート)で、「家族で協力して子育てをしていますか」という設問に対して、『十分協力している』『まあまあ協力している』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

小学生をもつ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート)で、「家族で協力して子育てをしていますか」という設問に対して、『十分協力している』『まあまあ協力している』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

市で集計

市で集計

就学前児童をもつ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート)で、「封筒のあて名のお子さんについて、母親、父親がこれまでに育児休業を取得したことがありますか」という設問に対して、

父親が『現在育児休業中』『取得したことがある』と答えた人の数/アンケート回答者のうち父親が『現在育児休業中』『取得したことがある』『勤め先に育児休業制度はあるが取得したことはない』と回答した人の数×100

母親が『現在育児休業中』『取得したことがある』と答えた人の数/アンケート回答者のうち母親が『現在育児休業中』『取得したことがある』『勤め先に育児休業制度はあるが取得したことはない』と回答した人の数×100

就学前児童をもつ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート)で、「封筒のあて名のお子さんについて、あなたは、様々な場面で困った時に相談できる相手がありますか」という設問に対し、『いる』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

小学生をもつ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート)で、「封筒のあて名のお子さんについて、あなたは、様々な場面で困った時に相談できる相手がありますか」という設問に対し、『いる』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

放課後子ども教室へ参加した子どもの数

1 子ども・子育て・教育 〈慈〉	項目	めざすまちの姿	まちづくり指標
	1-7	学校・園、地域、家庭が連携して、子どもたちが困窮することなく、安心して学び、成長できる環境となっている	地域の人に支えてもらって子育てをしていると思う人の割合【(1)就学前児童の保護者】
			地域の人に支えてもらって子育てをしていると思う人の割合【(2)小学生の保護者】
			子どもと将来の夢や目標について家庭で話をする小学生の保護者の割合
	1-8	障がいの有無にかかわらず、等しく保育・教育を受けることができる	特別支援教育・特別支援保育に関する学習会・研修会等への教職員や保育職員の参加者数
			特別支援教育について理解が進んでいると思う人の割合
	1-9	興味があることを、だれもが、気軽に学ぶことができる	学校で活動している地域のボランティアの数
			自分が参加したいと思う講座や活動があると思う人の割合
			公民館、図書館で開催される生涯学習講座への参加者数
			倉敷市役所でのインターンシップ受入人数
市民1人当たりの市立図書館の貸出数			

2 文化・産業 〈紡〉	2-1	生活の中に个性的で魅力的な文化芸術が息づいている	生活の中で文化的活動(鑑賞と実践のどちらでも可)を行っている人の割合
			文化施設の利用者数
	2-2	世代を超えて受け継がれてきた歴史文化や伝統が大切に継承され、輝いている	後世に伝えたい歴史文化や伝統が継承されていると思っている人の割合
			子どもと一緒に地域の伝統行事に参加したことがある人の割合
	2-3	生活の中で、日常的かつ気軽にスポーツに親しむことができる	週1回以上スポーツをしている成人の割合
			国民体育大会に出場する選手数
			倉敷市スポーツ情報サイト「Kurashiki Sports Navi」の閲覧数
	2-4	心に充足感やゆとりをもち、家庭と仕事の調和がとれている	自分や家庭の事情に合った働き方ができていると思っている人の割合
			余暇時間を有意義に過ごすことができていると思っている人の割合
			働いている職場が、子育てに対する理解があると思っている人の割合
	2-5	産業競争力が高く、多様な人材が働く機会に恵まれ、将来の暮らしに希望をもつことができる	自分の仕事にやりがいを感じている人の割合
			市内製造業粗付加価値額
			市内高等教育機関(大学・短期大学等)卒業生の市内就職率
			市内情報通信業売上

算出方法(定義づけ)

就学前児童をもつ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート)で、「地域の人に支えてもらって子育てをしていると思いますか」という設問に対して『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

小学生をもつ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート)で、「地域の人に支えてもらって子育てをしていると思いますか」という設問に対して『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

小学生をもつ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート)で、「封筒のあて名のお子さんと将来の夢や目標について家庭で話をしますか」という設問に対し、『する』と回答した人の数/アンケート回答者数×100

特別支援教育に関する学習会・研修会へ参加した教職員、特別支援保育研修会に参加した保育職員の数

市民アンケート調査(まちづくり指標)における属性で、小学生・中学生がいる人で、「障がいのある幼児児童生徒を指導・支援する特別支援教育について知っていますか」という設問に対して『知っている』と回答した人の数/アンケート回答者のうち小学生・中学生がいる人の総数×100

「地域連携による学校支援事業」と「放課後子ども教室推進事業」に参加したボランティアの延人数

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「公民館やライフパーク倉敷などに自分が参加したいと思う講座や活動がありますか」という設問に対して、『十分ある』『まあまあある』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

市民学習センター、公民館、図書館で開催される生涯学習講座受講者数

市で集計

図書の年間貸出点数※/市の人口 ※図書(視聴覚・雑誌を含む)の年間貸出点数(団体を含む)とは、中央・水島・児島・玉島・船穂・真備の図書館、移動図書館、公民館図書室、ライフパーク倉敷図書室の総貸出点数

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「生活の中で文化的活動(鑑賞と実践のどちらでも可)を行っていますか」という設問に対して、『よく行っている』『ときどき行っている』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

倉敷市民会館、芸文館、児島文化センター、玉島文化センター、マービーふれあいセンターの利用者総数

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「後世に伝えたいと思う歴史文化や伝統が継承されていると思いますか」という設問に対して、『継承されていると思う』『いくらか継承されていると思う』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

就学前児童をもつ保護者、小学生をもつ保護者へのアンケート調査(倉敷子ども未来プランアンケート)で、「子どもと一緒に地域の伝統行事に参加したことがありますか」という設問に対して『ある』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)で「週1回以上スポーツ※をしていますか」という設問に対して、『している』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100 ※ウォーキングや体操など、健康・体力づくりのための運動を含む

市で集計(年終了時)

市で集計(年度終了時)

市民アンケート調査(まちづくり指標)における属性で、仕事をしている人で、「自分や家庭の事情に合った働き方ができていますか」という設問に対して、『できている』『どちらかというのできている』と回答した人の数/アンケート回答者のうち仕事をしている人の総数×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)で「余暇時間を有意義に過ごすことができますか」という設問に対して、『できている』『どちらかというのできている』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)における属性で、仕事をしている人で、「あなたの職場は、子育てに対する理解があると思いますか」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の数/アンケート回答者のうち仕事をしている人の総数×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)における属性で、仕事をしている人で、「自分の仕事にやりがいを感じていますか」という設問に対して、『感じている』『どちらかというと感じている』と回答した人の数/アンケート回答者のうち仕事をしている人の総数×100

工業統計調査による

市内高等教育機関(大学・短期大学等)の卒業生のうち市内就職者数/卒業生の数

経済センサス-活動調査による

2 文化・産業 〈紡 <small>つむぐ</small> 〉	項目	めざすまちの姿	まちづくり指標
	2-6	商業の活性化が地域に活力を生み、時代の流れに対応したビジネスの創出や起業が進んでいる	商店街の休日1日当たりの歩行者・自転車通行量
			創業サポートセンターを活用した創業件数
			商業年間商品販売額
	2-7	将来にわたり持続可能な魅力ある農業や漁業が営まれている	新規就農者数
			担い手の農地利用集積率
			漁業所得
	2-8	倉敷の魅力国内外にPRし、たくさんの方が訪れるようになっている	市内主要観光地の観光客数
			市内宿泊客数
			シティセールス・観光・日本遺産関連ウェブサイトへの訪問回数(セッション数)と、シティセールス・観光関連フェイスブックの投稿が届いた人数(リーチ数)の合計
シティセールスに関するタグづけをされている投稿回数			
移住促進施策を通じた移住世帯数			

3 生活環境・防災・都市基盤 〈繋 <small>つなぐ</small> 〉	3-1	自然環境が守られ、環境と経済・社会とのバランスが保たれている	環境学習満足度
			身近なところで、生き物(動物、昆虫や植物など)にふれあえる場や機会(イベントを含む)があると思う人の割合
			身近な地域の緑の量が多いと感じている人の割合
	3-2	水と空気と大地がきれいで、環境負荷の少ないまちがつけられている	大気環境基準達成率
			汚水処理人口普及率
			清掃活動に参加している人の割合
	3-3	リデュース(ごみの発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(ごみの再生利用)が徹底され、環境に配慮した循環型社会が形成されている	1人1日当たりの家庭ごみ排出量
			事業ごみ(一般廃棄物)年間排出量
			リサイクル率
	3-4	脱炭素社会の実現に向け、だれもが地球温暖化対策を推進している	市全体から排出される温室効果ガスの削減割合(平成25年度34,519千t-CO ₂ 比)
			世帯当たりの年間温室効果ガス排出量
			太陽光発電システムの導入件数(10kW未満)

算出方法(定義づけ)

倉敷市商店街等通行量調査(隔年実施)による ※倉敷(調査地点No14~No22)、児島(調査地点No1~No14)、玉島、水島各地区の合計

創業サポートセンター構成団体からの報告をもとに市で集計

経済センサス-活動調査による(卸売業及び小売業の合計)

毎年の新規就農者調べ(県依頼)による

担い手の農地利用集積状況調査(農林水産省)に基づく認定農業者等担い手への農地利用集積率

岡山県地域水産業再生委員会倉敷市地区部会が浜の活力再生プラン策定時に調査する漁業所得者の平均所得

岡山県観光客動態調査での市内主要観光地の入り込み数(暦年)

倉敷観光コンベンションビューロー加盟宿泊施設からの報告数(暦年)

シティセールスサイト「クラシキ文華」・倉敷観光WEB・市日本遺産サイトへのユーザーの年間訪問回数(年間セッション数)と、市公式フェイスブック・倉敷観光情報フェイスブックの投稿が届いた年間ユーザー人数(年間リーチ数)の合計

市公式インスタグラムにおける、シティセールスに関するタグづけ(#クラシキブンカなど)をされている投稿回数の累計

お試し住宅利用者のうち、利用後のアンケートなどで移住が確認できた世帯数、就労支援利用者で就労が決定した世帯数等の合計

体験型講座、出前講座、施設見学の3区分の環境学習アンケートで、『楽しかった』『まあ楽しかった』または『わかりやすい』『まあわかりやすい』など、5項目のうち上位2項目を回答した人の割合を各区分で算出し、平均した値
※1区分の満足度は、実施した講座(見学)ごとに満足度を算出し、それらを平均した値

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「お住まいの地域(地区)で、生き物(動物、昆虫や植物など)にふれあえる場や機会(イベントを含む)があると思いますか」(※生き物は、ペットや庭木など、家庭内で飼育、植樹・栽培しているものを除く)という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100(現状値は市民モニターアンケートによる)

市民アンケート調査で「あなたが住む身近な地域の緑の量についてどのように感じていますか」の設問に対して、『非常に多い』『多い』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

基準値達成局数/有効測定局数(二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、二酸化窒素、微小粒子状物質、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、ダイオキシン類)×100

(公共下水道処理区域内人口+農業集落排水処理区域内人口+浄化槽汚水処理人口)/住民基本台帳人口×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)で「清掃活動に参加していますか」という設問に対して、『積極的にしている』『義務的にしている』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

家庭ごみ総排出量(集団回収量と資源ごみを除く家庭ごみの総排出量)/年度末人口/年度内日数

市で集計

総資源化量/ごみ総処理量×100
総資源化量とは、資源ごみ量+使用済乾電池量+施設資源化量+集団回収量+小型家電回収量

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき毎年度公表する市全体からの温室効果ガス排出量で、(平成25(2013)年度の排出量-その年の排出量)/平成25(2013)年度の排出量×100 ※3年前の実績値となる(例)「H29」→H26の実績値

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき毎年度公表する市全体からの温室効果ガス排出量より、家庭における温室効果ガス排出量を算出 ※3年前の実績値となる(例)「H29」→H26の実績値

市内の戸建住宅に導入された太陽光発電システムの件数(10kW未満)

3 生活環境・防災・都市基盤 〈繋 <small>つなぐ</small> 〉	項目	めざすまちの姿	まちづくり指標
	3-5	行政と市民、企業などが連携し、防災・減災対策や感染症対策などを積極的に進めるとともに、だれもが命を守る意識をもっている	自主防災組織カバー率
			地区防災計画の取組件数
			災害発生時のために、日頃から家族で備えをしている人の割合
			防災訓練や防災教育の実施件数
	3-6	常に安全でおいしい水が届き、安心して暮らすことができている	水道基幹管路の耐震適合率
			水道水を飲料水として直接飲んでいる人の割合(直接飲用率)
			残留塩素濃度のばらつき(標準偏差)
	3-7	だれもが安全で快適に移動できる道路環境となっている	交通事故(人身)発生件数
			歩道のバリアフリーが進んでいると思う人の割合
3-8	市中心部の拠点性が高まるとともに、各地域・地区の中心部の利便性が向上するまちづくりが行われている	倉敷駅を中心とする中心市街地における歩行者・自転車通行量	
		自分の住んでいる地域に魅力があると感じている人の割合	
3-9	便利に公共交通が利用でき、その周辺に住まいや生活に必要な施設が集まっている	水島臨海鉄道・井原鉄道・路線バス・コミュニティタクシーの年間利用者数	
		交通弱者(移動手段がない人)が不便なく移動できていると思っている人の割合	
3-10	地域の特色が生かされ、自然と調和した、だれもが住みやすい生活環境となっている	現在住んでいるところが住みやすいと感じている人の割合	
		地域の歴史やまちづくりに関心をもっている人の割合	
		身近な都市公園等に歩いて行ける地域の割合	
3-11	先人から受け継いだ歴史的・魅力的な景観が、市内各地で守られている	歴史的・魅力的な景観が保全されていると感じている人の割合	
		倉敷市の景観がよくなったと感じている人の割合	
		倉敷市の景観をよくする取組に関わりたいと思う人の割合	
3-12	犯罪が少なく、安心して暮らしている	刑法犯認知件数	
		法律相談や消費生活相談など、問題を相談できる市の窓口を知っている人の割合	

算出方法(定義づけ)

自主防災組織の組織されている地域の世帯数/管内全世帯数×100

自主防災組織等が地区防災計画の策定に着手している件数+策定済の件数

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「災害発生時のために、日頃から家族で備えをしていますか」という設問に対して、『している』『い
くらかしている』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

自主防災組織等が実施した出前講座及び防災訓練等の件数

(基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長)×100

水道展アンケート調査で、「ご家庭ではどのようにして水道水を飲んでますか」という設問に対して、『そのまま飲んでいる』『冷やしたり、沸騰
させたりして飲んでいる』『お茶やコーヒーなどで飲んでいる』『浄水器を利用して飲んでいる』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

毎日検査で測定した残留塩素濃度の年間データから算出した標準偏差 ※注:数値が小さいほど毎日検査の対象となっている末端給
水栓の残留塩素濃度のばらつきがなく、一定の濃度範囲内になっていることを示す

市町村別交通事故(人身)発生状況(岡山県警察本部交通部交通企画課)(暦年)

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「市内の歩道のバリアフリーが進んでいると思いますか」という設問に対して、『思う』と回答した
人の数/アンケート回答者総数×100

中心市街地エリア内27か所における、休日1日の午前10時から午後6時までの歩行者及び自転車通行量(人/日)

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「自分の住んでいる地域・地区※に魅力があると感じていますか」という設問に対して、
『感じている』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

※「地域・地区」とは、倉敷・水島・児島・玉島・庄・茶屋町・船穂・真備の各地域・地区をさす

①と②の合計 ①鉄道の年間利用者数:年間乗降客数÷2(乗って降りるため)
②路線バス、コミュニティタクシーの年間利用者数

「公共交通について」の市民モニターアンケートで、「過去3か月間の主な外出手段は」(複数回答)という設問に対して、『市内の鉄道、路
線バス、コミュニティタクシー、介護・福祉タクシー、福祉有償運送の車両』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「現在住んでいるところが住みやすいと感じていますか」という設問に対して、『感じている』と回答
した人の数/アンケート回答者総数×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「あなたの住んでいる地域の歴史やまちづくりに関心をもっていますか」という設問に対して、
『もっている』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

都市公園等(遊園・街区公園・近隣公園・地区公園・子ども広場)の各公園を中心とした半径250m(一般的な徒歩圏域)の円で囲まれた
区域の合計面積/工業専用地域を除く市街化区域の面積×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「市内では、歴史的・魅力的な景観が保全されていると感じていますか」という設問に対して、『感
じている』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「倉敷市のまちなみや自然の風景は、全般的にどうなったと感じますか」という設問に対して、『よ
くなった』『少しよくなった』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100 (現状値は市民モニターアンケートによる)

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「倉敷市の景観をよりよくしていく取組に関わりたいと思いますか」という設問に対して、『積極的
に関わりたい』『どちらかと言えば関わりたい』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100 (現状値は市民モニターアンケートによる)

刑法犯認知件数(岡山県警察本部生活安全部生活安全企画課)(暦年)

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「法律相談や消費生活相談など、問題を相談できる市の窓口を知っていますか」という設問に対
して、『知っている』『おおもね知っている』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

4 保健・医療・福祉
 結むすぶ

項目	めざすまちの姿	まちづくり指標
4-1	だれもが自分の健康に関心をもち、健康づくりに自ら取り組んでいる	健康寿命 【男性】
		健康寿命 【女性】
		1回に30分以上運動する日が週2日以上ある人の割合
		国保特定健診受診率
4-2	豊かな自然の恵みにより食べ物がおいしく、健全な食生活が実現されている	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている人の割合
		食品の安全性について十分な情報をもっている人の割合
4-3	市内のどこに住んでいても、だれもが安心して、医療を受けられている	身近にかかりつけ医がいる人の割合
		応急手当講習会(AEDの使用を含む心肺蘇生法、止血法等)を受講した人の割合
4-4	障がい者が積極的に社会参加でき、地域の人と安心してともに暮らせるようになっている	障がい福祉サービスにより地域全体で支えられていると思っている障がい者や家族の割合
		生活の場所に満足している障がい者の割合
		社会参加できていると思う障がい者の割合
		一般企業の障がい者雇用率
4-5	様々な事情により困窮している人が、自立できるよう地域で支え合っている	倉敷市生活自立相談支援センターの新規相談受付件数
		倉敷市生活自立相談支援センターの就労支援対象者の就労・増収率
4-6	高齢者が地域で安心して暮らすことができている	高齢者実態把握調査者数
		高齢者支援センターの相談件数
		いきいきポイント制度のボランティア登録者数
		認知症サポーター養成講座受講者数
4-7	尊厳が守られながら必要な介護サービスを受けることができている	特別養護老人ホームの入所申込者に占める在宅者の割合
		尊厳が守られた介護サービスが提供されていると思っている人の割合
		家族に対して、必要な介護サービスが受けられていると思っている人の割合
		職に対して、やりがいをもって従事できていると思っている介護サービス従事者の割合
4-8	高齢者が生きがいをもって活動している	シルバー人材センター会員数
		ふれあいサロンの実施か所数
		社会参加※している高齢者の割合 ※社会参加の例：ボランティア、スポーツや趣味、グループ、学習活動、ふれあいサロンなど通いの場、老人クラブ、町内会・自治会、仕事など

算出方法(定義づけ)

日常生活動作が自立している期間の平均 KDB(国保データベースシステム)データより、介護保険の要介護度2～5を『不健康』、それ以外の状態を『健康』と規定して算出
日常生活動作が自立している期間の平均 KDB(国保データベースシステム)データより、介護保険の要介護度2～5を『不健康』、それ以外の状態を『健康』と規定して算出
市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「1回に30分以上の運動をする日が、1週間に何日ありますか」という設問に対して、『2日～3日』『4日以上』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100
特定健康診査受診者数/特定健康診査対象者数×100 (法定報告値)
健康くらしき21アンケート調査で、「主食、主菜、副菜をそろえて食べることが1日に2回以上あるのは週に何日ですか」という設問に対して、「毎日」、「週に4～6日」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100
市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「食品の安全性について十分な情報を得られていますか」という設問に対して、『得られている』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100
市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「あなたは身近にかかりつけ医がいますか」という設問に対して、『いる』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100
応急手当講習会の受講者数/市の人口×100
障がい者アンケート調査(隔年実施)で、「あなたは、倉敷市の障がい福祉サービスにより地域全体で支えられていると思いますか」という設問に対して、『そう思う』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100
障がい者アンケート調査(隔年実施)で、「あなたは、現在の生活の場所に満足していますか」という設問に対して、『満足している』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100
障がい者アンケート調査(隔年実施)で、「あなたは、社会に参加できていると思いますか」という設問に対して、『参加できている』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100
岡山労働局が毎年調査する「一般企業の障がい者雇用率」
市で集計
市で集計
高齢者支援センターの「介護予防把握事業」の実施延べ数
高齢者支援センターの「総合相談」の件数
「倉敷市いきいきポイント制度」におけるボランティア登録者数
「認知症サポーター養成講座」の受講者数
岡山県で集計 要介護3以上の在宅者(医療機関に入院中の人を含む)に該当する入所申込者の数/要介護3以上の入所申込者の総数×100
介護サービス利用者アンケート(隔年実施)で、「尊厳が守られた介護サービスが提供されていると思っていますか」という設問に対して、『尊厳が守られた介護サービスが提供されていると思う』『どちらかというと思う』と答えた人の数/アンケート回答者総数×100
介護サービス利用者の家族アンケート(隔年実施)で、「必要な介護サービスが受けられていると思っていますか」という設問に対して、『必要な介護サービスが受けられていると思う』『どちらかというと思う』と答えた人の数/アンケート回答者総数×100
介護サービス従事者アンケート(隔年実施)で、「介護の職に対してやりがいをもって従事できていると思っていますか」という設問に対して、『介護の職に対して、やりがいをもって従事できていると思う』『どちらかというと思う』と答えた人の数/アンケート回答者総数×100
シルバー人材センターの会員数(年度末)
「倉敷市ふれあいサロン活動促進事業」における委託サロン数
市民アンケート調査(まちづくり指標)における属性で、65歳以上の人で、「あなたは、社会参加していますか」という設問に対して、『している』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

5 SDGs・市民協働・コミュニティ・行財政 （ <small>きずな</small> 絆）	項目	めざすまちの姿	まちづくり指標
	5-1	地域やコミュニティの中で、だれもが互いに助け合い、支え合って暮らしている	地域やコミュニティの中で、困っているときに相談できる人がいると思っている人の割合
			地域の課題に対して、自分たちでできることは地域コミュニティで解決しようと考えている人の割合
	5-2	ボランティア・NPOなどの市民主体の活動が活発に行われている	市民活動団体と協働で実施された事業数
			地域の課題を解決するためには、ボランティア・NPOの市民活動が必要だと考えている人の割合
	5-3	行政が市民の意見を踏まえ、施策の検討、効果的な実施、評価・検証を行い、改善を図っている	実質公債費比率
			施設別行政コスト計算書公表施設数
			市民モニターアンケート平均回答者数(1回当たり)
5-4	市民が安全で快適に、公共施設を利用している	公共施設の利用者数	
		モニタリングの評価が高い指定管理施設の割合	
		PPP/PFI手法による施設整備(改修等を含む)を伴う事業契約件数	
5-5	市役所が市民の身近な窓口として課題解決に向けて責任をもって対応している	外国人相談窓口の相談件数	
		地域の要望や困ったことがあったときの行政の相談窓口は、まずは市役所だと思っている人の割合	
5-6	だれもが快適で活力に満ちた生活ができるよう、先端技術が生活に溶けこんでいる	多くの市民が利用する公共施設のうち、キャッシュレス決済が可能な施設の割合	
5-7	持続可能な地域をめざすSDGsの理念を、だれもが理解し、行動している	倉敷市・高梁川流域SDGsパートナーの登録数	

算出方法(定義づけ)

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「地域やコミュニティの中で、困っているときに相談できる人がいますか」という設問に対して、『いる』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「地域の課題に対して、自分たちでできることは地域コミュニティで解決しようと思いますか」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

市で集計

市民アンケート調査(まちづくり指標)で「地域の課題を解決するためには、ボランティア・NPOの市民活動が必要だと思いますか」という設問に対して、『思う』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

地方債の元利償還金などに使われた一般財源/標準財政規模(標準的な一般財源)×100(3か年平均)

倉敷市財務書類で公表している施設別行政コスト計算書の施設数

市民モニターアンケートの年間回答総数/市民モニターアンケート年間実施回数

スポーツ施設利用者数(有料施設のみ)、図書館入館者数(ライフパーク倉敷図書室含む)、市民学習センター利用者数、公民館利用者数、複合施設(市民交流センター、環境交流スクエア)利用者数の総数

指定管理者制度を適用している施設のうち、モニタリングにおける、「S」評価(高レベルで運営されており高く評価できる)、「A」評価(適切に運営されており問題なかった)の割合

PPP/PFI手法による施設整備(改修等を含む)を伴う事業契約件数

外国人相談窓口での相談件数(来訪・電話)

市民アンケート調査(まちづくり指標)で、「地域の要望や困ったことがあったときの行政の相談窓口は、まずは市役所だと思いますか」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の数/アンケート回答者総数×100

市の所管する施設(使用料や飲食・宿泊費用として市民が支払った額が100万円以上あった施設)のうち、窓口でのキャッシュレス決済が可能な施設数/該当の施設×100

市で集計

2 SDGsとの関連性

2-1 めざすまちの姿とSDGsの17の目標の関連

めざすまちの姿		SDGsの目標
1 子ども・子育て・教育 〈慈む〉	1-1	だれもがその人らしさ(個性)を尊重され、幸せに暮らしていくことができる
	1-2	人の痛みを、子どもたちが実感としてわかっている
	1-3	教員の資質が保たれ、教員と子どもが心豊かな人間関係を築き、学校教育が充実している
	1-4	子どもたちが自然にふれながら、健やかに育っている
	1-5	安心できる環境のもとで出産・子育てができています
	1-6	仕事と家庭の両立ができ、親が子どもとふれあう時間をもつことができる
	1-7	学校・園、地域、家庭が連携して、子どもたちが困窮することなく、安心して学び、成長できる環境となっている
	1-8	障がいの有無にかかわらず、等しく保育・教育を受けることができる
	1-9	興味があることを、だれもが、気軽に学ぶことができる
2 文化・産業 〈紡ぐ〉	2-1	生活の中に個性的で魅力的な文化芸術が息づいている
	2-2	世代を超えて受け継がれてきた歴史文化や伝統が大切に継承され、輝いている
	2-3	生活の中で、日常的かつ気軽にスポーツに親しむことができる
	2-4	心に充足感やゆとりをもち、家庭と仕事の調和がとれている
	2-5	産業競争力が高く、多様な人材が働く機会に恵まれ、将来の暮らしに希望をもつことができる
	2-6	商業の活性化が地域に活力を生み、時代の流れに対応したビジネスの創出や起業が進んでいる
	2-7	将来にわたり持続可能な魅力ある農業や漁業が営まれている
	2-8	倉敷の魅力を国内外にPRし、たくさんの方が訪れるようになっている
3 都市基盤・防災・ 生活環境 〈繋ぐ〉	3-1	自然環境が守られ、環境と経済・社会とのバランスが保たれている
	3-2	水と空気と大地がきれい、環境負荷の少ないまちがつけられている
	3-3	リデュース(ごみの発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(ごみの再生利用)が徹底され、環境に配慮した循環型社会が形成されている
	3-4	脱炭素社会の実現に向け、だれもが地球温暖化対策を推進している

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレを 世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を 達成しよう
				●					●						●	
		●	●												●	
			●				●									●
			●		●								●	●		
●		●	●	●			●									
		●	●				●			●		●				
●			●													●
			●				●		●						●	
			●				●			●						
			●				●			●						
		●	●							●						
			●	●			●									
			●				●	●		●	●	●				
			●				●	●		●						
	●										●		●	●		
							●			●	●					
		●			●					●	●		●			●
			●							●	●		●			●
	●									●	●		●	●		●
						●		●		●	●	●				●

SDGsの目標

めざすまちの姿

<p>3</p> <p>生活環境・防災・都市基盤 〈繋ぐ〉</p>	3-5	行政と市民、企業などが連携し、防災・減災対策や感染症対策などを積極的に進めるとともに、だれもが命を守る意識をもっている
	3-6	常に安全でおいしい水が届き、安心して暮らすことができている
	3-7	だれもが安全で快適に移動できる道路環境となっている
	3-8	市中心部の拠点性が高まるとともに、各地域・地区の中心部の利便性が向上するまちづくりが行われている
	3-9	便利に公共交通が利用でき、その周辺に住まいや生活に必要な施設が集まっている
	3-10	地域の特色が活かされ、自然と調和した、だれもが住みやすい生活環境となっている
	3-11	先人から受け継いだ歴史的・魅力的な景観が、市内各地で守られている
	3-12	犯罪が少なく、安心して暮らしている
<p>4</p> <p>保健・医療・福祉 〈結ぶ〉</p>	4-1	だれもが自分の健康に関心を持ち、健康づくりに自ら取り組んでいる
	4-2	豊かな自然の恵みにより食べ物がおいしく、健全な食生活が実現されている
	4-3	市内のどこに住んでいても、だれもが安心して、医療を受けられている
	4-4	障がい者が積極的に社会参加でき、地域の人と安心してともに暮らせるようになっている
	4-5	様々な事情により困窮している人が、自立できるよう地域で支え合っている
	4-6	高齢者が地域で安心して暮らすことができている
	4-7	尊厳が守られながら必要な介護サービスを受けることができている
	4-8	高齢者が生きがいをもって活動している
<p>5</p> <p>SDGs・市民協働・ コミュニティ・行財政 〈絆な〉</p>	5-1	地域やコミュニティの中で、だれもが互いに助け合い、支え合って暮らしている
	5-2	ボランティア・NPOなどの市民主体の活動が活発に行われている
	5-3	行政が市民の意見を踏まえ、施策の検討、効果的な実施、評価・検証を行い、改善を図っている
	5-4	市民が安全で快適に、公共施設を利用している
	5-5	市役所が市民の身近な窓口として課題解決に向けて責任をもって対応している
	5-6	だれもが快適で活力に満ちた生活ができるよう、先端技術が生活に溶けこんでいる
	5-7	持続可能な地域をめざすSDGsの理念を、だれもが理解し、行動している

2-2 SDGsの17の目標

SDGsの17の目標を、それぞれのアイコンと短い言葉で示しています。

〈 SDGsの17の目標 〉

〈 解説 〉

	目標1 貧困をなくそう	地球上のあらゆる形の貧困をなくそう
	目標2 飢餓をゼロに	飢えをなくし、だれもが栄養のある食糧を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう
	目標3 すべての人に健康と福祉を	だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしよう
	目標4 質の高い教育をみんなに	だれもが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう
	目標5 ジェンダー平等を実現しよう	男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう
	目標6 安全な水とトイレを世界中に	だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していけるようにしよう
	目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人が、安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしよう
	目標8 働きがいも経済成長も	みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう
	目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう	災害に強いインフラを整え、新しい技術を開発し、みんなに役立つ安定した産業化を進めよう

〈 SDGs の17の目標 〉

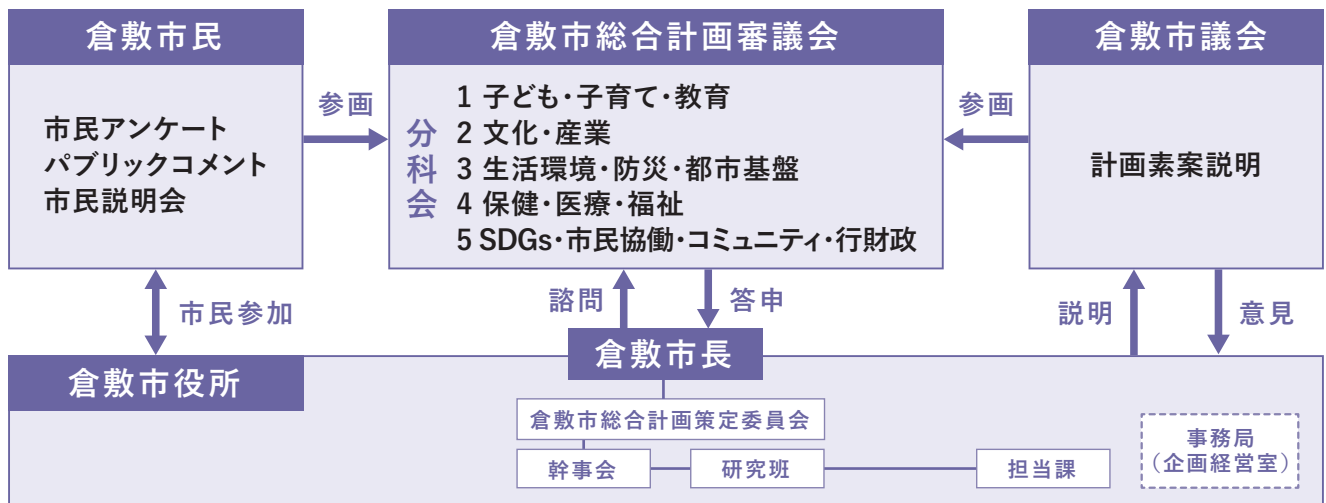
〈 解説 〉

	<p>目標10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>世界中から不平等を減らそう</p>
	<p>目標11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくろう</p>
	<p>目標12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう</p>
	<p>目標13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう</p>
	<p>目標14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>海の資源を守り、大切に使う</p>
	<p>目標15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使う</p>
	<p>目標16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>平和でだれもが受け入れられ、すべての人が法や制度で守られる社会をつくろう</p>
	<p>目標17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>世界のすべての人がみんなで協力しあい、これらの目標を達成しよう</p>

アイコン及び目標は『国際連合広報センター』、解説は『公益財団法人 日本ユニセフ協会「SDGs CLUB」』より

3 倉敷市第七次総合計画策定経過

3-1 計画の策定体制



3-2 市民参加の取組

1 市民アンケートの実施

まちづくりや結婚・出産・子育てなどに関して、令和元(2019)年9～10月にかけてアンケートを実施

① 倉敷市第七次総合計画策定のための市民アンケート調査

対象：市内に住所のある16歳以上の市民計5,000人を無作為で抽出

回収数/配布数:1,682通/5,000通(紙面回答1,610通、Web回答72通)、回収率:33.6%

② 結婚・出産・子育てに関する市民アンケート調査

対象：市内に住所のある18歳以上50歳未満の市民計1,500人を無作為で抽出

回収数/配布数:357通/1,500通(紙面回答300通、Web回答57通)、回収率:23.8%

③ 高校生向け進学・就職、定住に関する意識調査

対象：市内公立高等学校に通学している生徒(各校/各学科で任意の1クラス) 回答数:1,325通

④ 大学生向け進学・就職、定住に関する意識調査

対象：市内の大学・短期大学等に通学している学生 回答数:1,621通(Web回答)

2 パブリックコメント

「倉敷市第七次総合計画(素案)」に対する意見募集を行い、寄せられた意見を取り入れることができるかを検討し、その検討結果と寄せられた意見に対する市の考え方を併せて公表

募集期間:令和2(2020)年11月5日(木)～30日(月) 意見提出:16人(計25件)

3 市民説明会

「倉敷市第七次総合計画(素案)」の説明会を5会場(倉敷、児島、玉島、水島、真備)で開催

開催日:令和2(2020)年11月14日(土)、15日(日)、17日(火) 参加者:45人

3-3 計画の策定経過

		審議会・分科会	市議会・市民	庁内会議	
令和元年度	7月			●第1回 策定委員会幹事会(7/31)	
	8月		●市議会総務委員会で総合計画の策定について説明	●第1回 策定委員会(8/5)	
	9月		●市民アンケート実施 (市民、結婚・出産・子育て、高校生、大学生)		
	10月			●第1回 策定研究班(10/2)	
	11月	●第1回 審議会(11/22) 諮問 ■第1回 第1～第5分科会(11/22) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 1 子ども・子育て・教育 2 文化・産業 3 生活環境・防災・都市基盤 4 保健・医療・福祉 5 SDGs・市民協働・コミュニティ・行財政 </div>			
	12月			●策定研究班(「現状と課題」検討)	
	1月	■第2回 第1～第5分科会(1/20～24)			
	2月			●第2回 策定研究班(2/14) ●策定研究班(「基本構想案」検討)	
3月	■第3回 分科会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面で意見聴取				
令和2年度	4月				
	5月	■第4回 分科会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面で意見聴取		●策定研究班(「基本計画案」検討)	
	6月				
	7月	■第5回 第1～第5分科会(7/8～14)			
	8月	■第6回 第1～第5分科会(8/24～28)		●第2回 策定委員会幹事会(8/5) ●第2回 策定委員会(8/7)	●策定研究班(「計画素案」検討)
	9月				
	10月	■第7回 第1～第5分科会(9/25～10/7)	●市議会総務委員会で策定までの今後の予定などを説明	●第3回 策定委員会幹事会(10/21) ●第3回 策定委員会(10/26)	
	11月		●倉敷市第七次総合計画素案を公表、パブリックコメントの実施(11/5～30) ●市議会各常任委員会で計画素案について説明 ●市民説明会開催(倉敷、児島、玉島、水島、真備)		
	12月	●第2回 審議会(12/21) ●第七次総合計画案 答申 (12/22)		●第4回 策定委員会幹事会(12/23) ●第4回 策定委員会(12/25) ●庁議(12/25) 庁議決定	

3-4 倉敷市総合計画審議会

1 審議会委員、分科会構成

◎:会長 ○:副会長 ◇:分科会長 □:担当 (五十音順・敬称略)

氏名	役職名	担当分科会*				
		1	2	3	4	5
浅野 静子	倉敷市民生委員児童委員協議会副会長・倉敷市社会福祉協議会副会長				□	
板谷 利昭	株式会社クラレ倉敷事業所総務部長			□		
伊東 裕紀	倉敷市議会環境水道委員会委員長			□		
井上 稔裕	晴れの国岡山農業協同組合常務理事		□			
井上 峰一	倉敷商工会議所会頭					□
大賀 環子	公募委員		□			
大島 康弘	児島商工会議所会頭		□			
岡崎 真宏	株式会社中国銀行倉敷支店長					□
小川 洋一	倉敷市国際交流協会会長	□				
小倉 智美	倉敷市PTA連合会顧問	□				
尾崎 聡	岡山学院大学・岡山短期大学教授		◇			
後藤田 恵子	倉敷市文化連盟副会長		□			
兒山 和子	倉敷市栄養改善協議会会長				□	
齋藤 武次郎	倉敷市議会議長					□
佐藤 均	つくば商工会会長	□				
塩津 孝明	倉敷市議会建設消防委員会委員長			□		
竹内 京子 ○	くらしき作陽大学教授	◇				
武田 晴郎	倉敷市連合医師会理事 (委員任期:令和2(2020)年6月20日~)				□	
竹中 麻由美	川崎医療福祉大学教授				◇	
武則 啓子	倉敷市婦人協議会副会長・消費生活学級委員					□
田野 美佐	倉敷市愛育委員会連合会書記			□		
永井 圭子	倉敷観光コンベンションビューロー理事		□			
中島 光浩	倉敷市議会文化産業委員会委員長		□			
難波 朋裕	倉敷市議会保健福祉委員会委員長				□	
新垣 敦子	倉敷市議会総務委員会委員長					□
平井 俊光	KCM倉敷コミュニティ・メディア事務局長					□
平松 恵美子	公募委員			□		
藤野 光喜	倉敷市連合医師会理事 (委員任期:~令和2(2020)年6月19日)				□	
藤原 薫子	倉敷市議会市民文教委員会委員長	□				
前田 勝則	連合岡山倉敷地域連絡会代表	□				
松岡 智子	倉敷芸術科学大学教授			◇		
三村 聡 ◎	岡山大学教授・地域総合研究センター(AGORA)センター長					◇
三村 英世	倉敷市議会副議長				□	
守永 一彦	玉島商工会議所会頭				□	
守屋 弘志	真備船穂商工会会長			□		
横溝 誠子	倉敷人権擁護委員協議会委員	□				

※第1分科会(子ども・子育て・教育) 第2分科会(文化・産業) 第3分科会(生活環境・防災・都市基盤)
第4分科会(保健・医療・福祉) 第5分科会(SDGs・市民協働・コミュニティ・行財政)

2 倉敷市総合計画審議会への諮問

企 第 87 号

倉敷市総合計画審議会
会長 三 村 聡 様

倉敷市総合計画審議会条例（昭和55年倉敷市条例第38号）第2条の規定に基づき、倉敷市第七次総合計画について貴審議会の意見を求めます。

令和元年11月22日

倉敷市長 伊 東 香 織

3 倉敷市総合計画審議会からの答申

令和2年12月22日

倉敷市長 伊 東 香 織 様

倉敷市総合計画審議会
会長 三 村 聡

倉敷市第七次総合計画について（答申）

令和元年11月22日付け企第87号で諮問されたこのことについて、別添のとおり答申します。

別添 倉敷市第七次総合計画案

4 関係条例等

1 倉敷市総合計画審議会条例

昭和55年9月22日
条例第38号

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、倉敷市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、倉敷市総合計画に関する事項について調査及び審議をする。

(委員)

第3条 審議会は、委員35人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する。

- (1) 市議会の議員
- (2) 学識経験を有する者
- (3) その他市長が特に必要と認めた者

3 委員は、当該諮問に係る審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会は、会長が招集する。

- 2 審議会は、委員の定数の半数以上の者が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(委任)

第6条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

2 倉敷市総合計画審議会条例施行規則

平成2年7月5日
規則第54号

(趣旨)

第1条 この規則は、倉敷市総合計画審議会条例(昭和55年倉敷市条例第38号。以下「条例」という。)第6条の規定に基づき、倉敷市総合計画審議会(以下「審議会」という。)の運営その他に関し、必要な事項を定めるものとする。

(諮問事項の分担)

第2条 会長は、条例第2条に規定する審議を円滑に行うため、必要に応じ、諮問事項について審議会の委員の分担を定めることができる。

- 2 前項の規定により委員の分担を定めたときは、必要に応じ、小会議により分担事項ごとに協議することができる。
- 3 諮問事項の分担及び協議に関し必要な事項は、会長が審議会の同意を得て定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。